

1. 横浜市環境保全基金の残高等

		金額 (単位:円)	備考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	510,793,055	
	内訳	うち、国費相当額	200,000,000
		うち、地方負担相当額	310,793,055
		うち、負担附寄附金等	0
②	基金運用益	4,880	
③	その他収入	6,519,524	寄附金
④	負担附寄附金等	0	
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	57,476,358	内訳は下表のとおり 運用益含む
⑦	基金残高	459,841,101	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	200,000,000
		うち、地方負担相当額	259,841,101
		うち、負担附寄附金等	0

2. 保有割合

	次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備考
⑧	基金残高		459,841,101	
⑨	事業費 (次年度から終了年度までの見込額)		413,788,000	
⑩	保有割合			= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠
 運用型：運用益見込額÷事業費 (次年度見込額)
 取崩型：基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

3. 事業一覧

番号	事業名	事業費			備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
		合計	一般財源等	基金充当額				
1	環境にやさしいライフスタイル推進事業	879,699	0	879,699		87%	3,748,000	7,875,000
2	生物多様性保全推進事業	10,228,560	8,741,901	1,486,659		87%	836,000	7,875,000
3	地域環境活動等支援事業	107,660,462	52,550,462	55,110,000		87%	67,087,000	398,038,000
4		0						
5		0						
6		0						
7		0						
8		0						
9		0						
10		0						
11		0						
12		0						
13		0						
14		0						
15		0						
合 計		118,768,721	61,292,363	57,476,358			71,671,000	413,788,000

4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	市民・企業などの多様な主体との協働により、環境行動や環境教育の幅広い世代への実施、多角的な視点からのプロモーションの展開により、環境にやさしいライフスタイルの実践と定着を図ります。	
成果実績	環境に関心があり、行動に結びついている人の割合：84.9%	
目標値	環境に関心があり、行動に結びついている人の割合：98%	
達成度	86.6%	

事業番号

令和2年度 事業報告書

事業名	環境にやさしいライフスタイル推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境にやさしいライフスタイル推進事業	開始年度	平成28年度
担当部署	環境創造局政策課	終了年度	令和8年度

1. 目的及び目標（値）

目的

市民や企業の環境への関心の高まり、意識・行動の変化を捉え、環境にやさしいライフスタイルの普及につながるためのプロモーションを展開する。

目標

市民・企業などとの多様な主体との協働により、環境行動や環境教育の幅広い世代への実施、多角的な視点からのプロモーションの展開により、環境にやさしいライフスタイルの実践と定着を図ります。
(環境に関心があり、行動に結びついている人の割合：2026年までに98%)

2. 概要

市民や活動団体、企業等と連携しながら、生物多様性保全や地球温暖化対策、省エネなどの環境保全活動に市民や企業が日常的に取り組むよう、環境にやさしいライフスタイルを推進していく。

3. 根拠法令等

環境基本法、生物多様性基本法、環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律、横浜市環境管理計画（環境教育等行動計画、生物多様性横浜行動計画）、横浜市地球温暖化対策実行計画

4. 実施内容等

・環境プロモーション
生物多様性をはじめとする横浜市の環境に関する取組を、イベントや図書館と連携したパネル展示等でPRした。また、環境関連事業を所管する局と連携して、スポーツ選手を起用した環境行動啓発ポスターを作成し、掲出した。
・こども「エコ活。」大作戦！
小学生にチェックシートを配布し、家庭・地域での環境行動の取組を推進した。また、その取組を支援する協賛企業と連携し、海外の環境保全活動の支援を行った。

令和2年度 事業報告書

事業名	生物多様性保全推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	生物多様性保全推進事業	開始年度	平成28年度
担当部署	環境創造局政策課	終了年度	令和8年度

1. 目的及び目標（値）

目的
「環境管理計画（生物多様性横浜行動計画）」の推進に向け、市民や企業、市民団体等と連携し、生物多様性の普及啓発を展開する。

目標
市民・企業などとの多様な主体との協働により、環境行動や環境教育の幅広い世代への実施、多角的な視点からのプロモーションの展開により、環境にやさしいライフスタイルの実践と定着を図ります。
(環境に関心があり、行動に結びついている人の割合：98%)

2. 概要

「環境管理計画（生物多様性横浜行動計画）」の普及啓発、取組方針の実現に向けた検討、市民の生物多様性に対する理解促進、市民による生物多様性の取組に対する支援等を行う。

3. 根拠法令等

生物多様性基本法、環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律、横浜市環境の保全及び創造に関する基本条例、環境管理計画（生物多様性横浜行動計画）、横浜市附属機関設置条例、横浜環境活動賞実施要綱

4. 実施内容等

- ・環境教育出前講座（生物多様性でYES！）
ヨコハマ・エコ・スクール（YES）の枠組みを活用し、地域・学校を対象に生物多様性や環境全般について学ぶ場を提供した。
- ・活動支援事業
横浜環境活動賞の表彰及び活動発表・交流会を実施した。
- ・「生物多様性横浜行動計画（ヨコハマbプラン・平成30年11月 横浜市環境管理計画に組み込む形で改定）」普及啓発等推進
生物多様性の基礎知識や生き物調査等の研修を行った。また、普及啓発物品を作成し、イベント等で配布した。
さらに、消費生活の中で、取り組みやすい環境行動のひとつとして、環境に優しい商品の購入があることを市民に呼びかける
SNSキャンペーンを実施した。

令和2年度 事業報告書

事業名	地域環境活動等支援事業	新規・継続区分	継続
事項名	公園愛護会活動等支援事業	開始年度	平成30年度
担当部署	環境創造局公園緑地維持課	終了年度	令和8年度

1. 目的及び目標（値）

<p>目的 公園愛護会の身近な公園の地域主体による管理・運営を支援し、公園から広がる地域まちづくりから、地域環境活動のPRをおこない促進をはかる。</p> <p>目標 市民・企業などとの多様な主体との協働により、環境行動や環境教育の幅広い世代への実施、多角的な視点からのプロモーションの展開により、環境にやさしいライフスタイルの実践と定着を図ります。 (環境に関心があり、行動に結びついている人の割合：98%)</p>

2. 概要

<p>身近な公園の地域主体による管理・運営のため、公園愛護会に対する謝金の交付に加え、フォローアップを取り入れた多様な技術支援、用具から広報品に及ぶ必要物品の提供支援を展開する。愛護会の連携やPR強化に向けては、愛護会相互の交流の機会である各区の愛護会のつどいを支援するとともに、様々なイベントの機会をとらえながら、広く一般への事業PRを推進する。</p>
--

3. 根拠法令等

<p>都市公園法、横浜市公園条例、横浜市公園愛護会事務取扱要綱、横浜市公園愛護会表彰要綱</p>
--

4. 実施内容等

<p>①公園愛護会の活動に対する報償費支出（活動面積に応じ2万円～4万円/団体） ②物品支援：活動に必要な物品提供（ゴミ袋・竹箒・活動中看板等の支給等） ③愛護会のつどい・通信：愛護会間の連携強化を図るイベント実施、行政と愛護会との情報交流（各区つどいの開催、愛護会通信の発行） ④公園愛護会表彰：永年の功績をたたえ個人を表彰。 ⑤公園愛護会への現地支援を行う維持管理支援班による技術支援、環境出前講座等の実施</p>
